

9. 始業点検

始業点検を怠ると事故の原因につながる事があります。常に点検する習慣をつけ、本機を正常な状態に保つ事が安全につながりますので、必ず実施してください。

▲ 警告

- ・各部の点検を行う時は、本機を平坦で堅固な場所に置き、エンジンをかけて点検する項目以外は、必ずエンジンを停止状態としてください。
- ・点検して不具合が見つかった場合は、直ちに販売店または、整備工場に修理を依頼し、必ず修理が完了してから本機を使用してください。

1. エンジン始動前に行う点検

① 油漏れ

本機の下(床面)に油のにじみの跡が無いを確認してください。

② エンジンの油量

図9. 1のオイルゲージにて、油量を確認してください。

まず、オイルゲージを外し布でゲージを拭き取り、その後ゲージ差し込んで、油の付いている位置を確認してください。“F”と“L”の間にオイルが付いていれば、適量ですがそれより少ない場合は、オイルを補充してください。

尚、推奨するオイルは、下記の通りです。

推奨オイル

| | | | |
|----------|----------|-------|------|
| 自動車用ガソリン | マルチグレード | 10W30 | 0.5L |
| エンジンオイル | シングルグレード | 30# | |

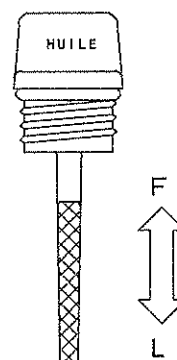


図9. 1 オイルゲージ

③ 燃料

- ① 燃料の量の点検 : 燃料タンクに燃料が入っているか、燃料ゲージにて点検します。
- ② 燃料キャップの点検 : 燃料タンクのキャップが、確実にしまっているか点検します。
- ③ 燃料漏れの点検 : 燃料タンク、燃料ホース等の燃料漏れが無い点検してください。

▲ 注意

- ・燃料タンク、燃料ホース等により燃料漏れが無い点検してください。
- ・燃料を補給したときは、燃料キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。